



# 妙安寺だより

# 413

門松や 冥途の旅の 一里塚

めでたくもあり めでたくもなし (伝、一休宗純)

昔は、新年を迎えることで、年齢を一つ加えていました。

門松をたて、正月飾りをおこない、新年を祝いますが、また一つ、死出の旅に近づいている、生死や祝儀不祝儀は表裏一体のものですよ、という教訓です。

門松をたてたり、正月飾りを行なうのは、様をお迎えする為です。年神様とは、年の初めにやってきて、その家に1年の幸運をもたらしてくれる神様です。この神様はとてもきれい好きなので、年末の掃除をしていない家には訪れません。また、とがったモノに宿るので、門松や正月飾りには、松などのとがったものを飾ります。

家だけでなく、お墓や位牌堂の掃除を行ない、今年の感謝・報告と、来る年の平穏とをご先祖様においのりください。

**\*ゴミの分別にご協力下さい。掃除道具は元の場所へ。**

**\*17時に閉門します。閉門後は番犬を放していますので、ご注意ください**  
**閉門後も駐車場に駐車される場合は、一言お声かけください。不審車両と間違えます。**

**\*マークイズ福岡開業に伴い、周辺道路が混雑しています。余裕をもってお参り下さい。**

**\*護持会規則変更につき、会費未納の方には、1月発送分より、寺報は中止します。**

1月の行事予定

1月1日(火)～3日(木) 太歳三が日 午前11時 回向  
午後 1時 祈願

1月14日(月・祝) 午後2時 鏡開き・大黒祭

大黒様をお持ちの方は持参ください。  
法要後、ぜんざいの供養があります。

**\*平成31年「地涌の声」の功德主を募集しています。1・5・12月は申込済みです。**

**\*太歳三が日回向・祈願札等は2月の星祭り後に併せてお配りします。発送希望の方は送料500円を追加してお申し込みください。**